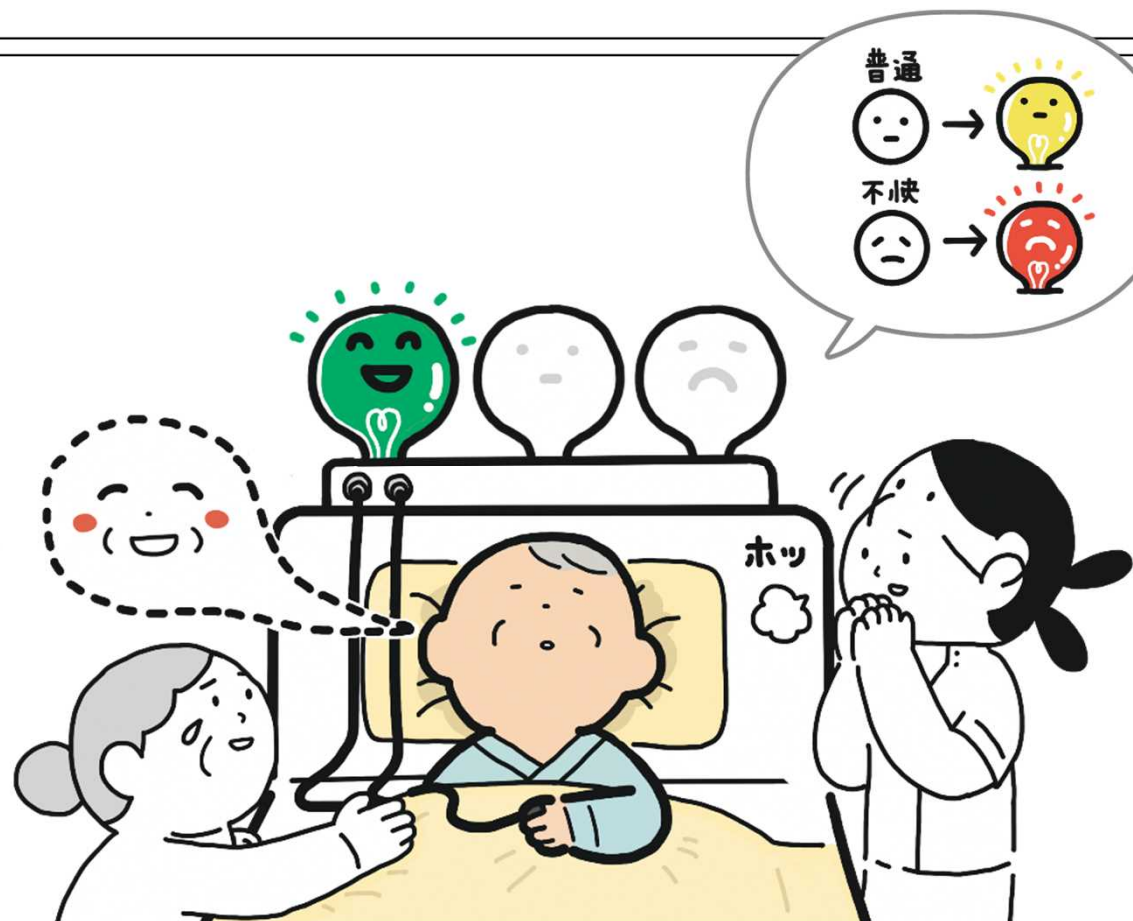


喜怒哀楽に合わせて色別で光って知らせしてくれることで、相手の求めることが分かり、**よりよい介護**ができるツール

看取りや寝たきりの人達の介護をしている時、**表情や声が出ない・出さない方が多い。**

介護に携わっている人にとって、行っている**介護が本当に相手にとってのぞむ事なのか**分からない

(例) 体位交換した時に苦しくないとか、不快ではないとかが分かったり、あるいは気持ちいいが分かると、介護者のモチベーションが上がる。



- **感情認識・解析を何に基づいて行うのか**考える必要がある。
- 脈拍・脳波・心拍数などの生体データや、顔の表情筋や眼の動き、指先の動きなどの身体の動き・活動等を手掛かりに感情を判定する。
- そうした判定を行うための何かしらのデータが必要と思われる。